

一般質問



子どもの貧困問題 今私達に出来る事は！



無所属の会 市民の力 ●赤祖父 ゆみ 議員

フツ化物洗口について
その実施計画は。

問 平成31年度は希望者に対し、私立を含む市内全園の5歳児を対象に開始し、平成32年度以降の小・中学校への対象拡大に向けて協議を進めています。

問 う歯・歯肉炎の現状とその効果は。

答 う歯は減少してきていますが、未だに子どもにも最も多い疾患となっております。歯肉炎についての効果は認められていません。

問 ブラッシング指導も大切であると認識しますが。

答 平成31年度、園では中止を考えています。

問 様々な問題を抱えている子ども達も増えていますが、フツ化物洗口教師は対応に追われています。フツ化物洗口を行なう事で働き方改革業務改善に逆行では。

答 小学校では1週間

に10分程度で、そのような認識はありません。

問 薬剤（ミラノール）についての保管と安全性について

答 薬剤は劇薬となりますので、鍵のかかるところで保管します。厚生労働省やWHOは安全性を認め事故が起った例はありません。責任の所在は市にあります。



子どもを育む支援体制と子どもの貧困対策について

こどもの貧困に関する実態調査結果については、平成31年度策定予定の「第2次湖南省子ども・子育て支援計画」の中で取り組んでいきます。



大変な時こそ市民に 寄り添ってほしい！



湖南省公明党議員団 ●くわはらだ 美知子 議員

問 死亡手続をわかりやすくした「おくやみコーナー」の設置について。

答 葬儀後行う各種手続き全体を網羅するものとなるので、関係各課で調整・連携をして、仕組みを構築する必要があります。市民の利便性の向上に向けた検討を進めます。



「おくやみコーナー」

がん教育が大事であると思えますが、外部講師を呼んだがん教育が出来ていない現状は

答 教育方針案に人生100年時代を生きる教育の創造というサブテーマを掲げているが、教育部の管理職からは

健康教育が大事だとの声が上がっており、がん教育は健康教育に含まれ、外部講師は各学校で健康教育のひとつとして取り組みます。

問 スクール・サポート・スタッフの配置による学校現場での効果は。

答 各小中学校に、国や県の予算付けのスタッフと市費による学校支援員を配置しています。平成30年度からプリントの印刷や掲示物の張替えなど、必ず教員がしなくてもよい業務を担ってもらうようにしています。学校現場からは子どもに向き合う時間や教材研究の時間が増えたと聞いています。今後も継続して、できるだけ多くの学校支援員を各校に配置していこうと考えています。